

根岸公民館・根岸体育館解体工事

設計図

	課長	課長補佐	担当者		
決裁				決裁印	

川口市建設部建築課

根岸公民館・根岸体育館解体工事

番号	図面名称	確認申請	番号	図面名称	確認申請	番号	図面名称	確認申請	番号	図面名称	確認申請	番号	図面名称	確認申請
	共通図			【根岸体育館】						【根岸公民館】				
共通-000	図面リスト			意匠図			アスベスト			意匠図				
共通-001	解体工事特記仕様書(1)		AA-001	仕上表		AA-101	【アスベスト】仕上表		BA-001	仕上表 1階平面図 建具キープラン				
共通-002	解体工事特記仕様書(2)		AA-002	1階平面図		AA-102	【アスベスト】1階平面図		BA-002	立面図				
共通-003	案内図・解体工事概要・現況配置図		AA-003	2階平面図		AA-103	【アスベスト】2階平面図		BA-003	断面図				
共通-004	仮設計画図(1)(参考)		AA-004	屋根伏図		AA-104	【アスベスト】屋根伏図		BA-004	天井伏図 屋根伏図				
共通-005	仮設計画図(2)(参考)		AA-005	立面図(1)		AA-105	【アスベスト】1階 天井伏図		BA-005	建具表(1)				
共通-006	仮設計画図(3)(参考)		AA-006	立面図(2)		AA-106	【アスベスト】2階 天井伏図		BA-006	建具表(2)				
共通-007	仮設計画図(4)(参考)		AA-007	断面図		AA-107	【アスベスト】立面図(1)		BA-007	浄化槽詳細図				
共通-008	仮設計画図(5)(参考)		AA-008	断面詳細図(1)		AA-108	【アスベスト】立面図(2)		BA-008	基礎伏図				
共通-009	仮設計画図(6)(参考)		AA-009	断面詳細図(2)										
			AA-010	断面詳細図(3)・階段詳細図			構造図			アスベスト				
			AA-011	(玄関ホール)平面詳細図・展開図		AS-001	基礎伏図・基礎断面図		BA-051	【アスベスト】仕上表 1階平面図				
			AA-012	(便所)平面詳細図・展開図		AS-002	基礎・柱脚詳細図・一般共通事項・補強要領図		BA-052	【アスベスト】立面図				
			AA-013	(便所)断面詳細図・詳細図		AS-003	地中梁・スラブリスト		BA-053	【アスベスト】天井伏図 屋根伏図				
			AA-014	(更衣室)平面詳細図・展開図		AS-004	2階梁伏図							
			AA-015	(器具庫)平面詳細図・展開図		AS-005	R階梁伏図			電気設備図				
			AA-016	(会議室・フロンム)平面詳細図・展開図		AS-006	軸組図(1)		BE-001	1階平面図 電灯設備				
			AA-017	(体育室・放送室・ｽﾀｰｼﾞ)平面詳細図		AS-007	軸組図(2)		BE-002	照明器具姿図				
			AA-018	(体育室上部)平面詳細図		AS-008	梁・柱・継手リスト		BE-003	動力設備 電話設備 拡声設備				
			AA-019	(ｽﾀｰｼﾞ)断面詳細図		AS-009	鉄骨詳細図(1)		BE-004	信号設備 火災報知設備				
			AA-020	(体育室)展開図		AS-010	鉄骨詳細図(2)		BE-005	火災報知設備				
			AA-021	1階 天井伏図										
			AA-022	2階 天井伏図										
			AA-023	1階 建具キープラン		AE-001	特記仕様書・外構平面図		EM-001	衛生設備 機器表・器具表・平面図				
			AA-024	2階 建具キープラン		AE-002	1階平面図 電灯設備		EM-002	衛生設備 詳細図				
			AA-025	建具表(1)		AE-003	2階平面図 電灯設備		EM-003	衛生設備 給水引込管図(参考図)				
			AA-026	建具表(2)		AE-004	2階平面図 誘導灯設備		EM-004	空調換気設備 機器表・平面図				
			AA-027	雑詳細図(1)		AE-005	機器姿図							
			AA-028	雑詳細図(2)		AE-006	1階平面図 幹線動力 拡声・信号設備							
			AA-029	雑詳細図(3)		AE-007	2階平面図 拡声・信号設備							
			AA-030	体育器具詳細図(1)		AE-008	受変電設備 盤図							
			AA-031	体育器具詳細図(2)		AE-009	系統図 拡声設備 信号設備 火災報知設備							
			AA-032	体育器具詳細図(3)		AE-010	1階平面図 火災報知設備							
			AA-033	体育器具詳細図(4)		AE-011	2階平面図 火災報知設備							
			AA-034	体育器具詳細図(5)										
			AA-051	外構概要図			機械設備図							
			AA-052	外構平面図		AM-001	衛生設備 機器表・器具表・1階平面図							
			AA-053	外構平面詳細図・立面図		AM-002	衛生設備 2階平面図							
			AA-054	外構詳細図		AM-003	衛生設備 詳細図(1)							
			AA-055	浄化槽詳細図		AM-004	衛生設備 詳細図(2)							
						AM-005	空調換気設備 機器表・1階平面図							
						AM-006	空調換気設備 2階平面図							
						AM-007	空調換気設備 詳細図							

- 石綿含有成形板の除去 <6.5.1~4>
 - 除去対象範囲 ○図示
 - 除去した石綿含有成形板の処分
 - ・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)
 - ※埋立処分 (管理型最終処分場)
 - ・石綿含有せつこうボードを除く石綿含有成形板
 - 埋立処分 (安定型最終処分場)
 - ・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)
 - 石綿含有建材除去後の仕上げ工事 ○図示

6-3 石綿含有建材の処理 (2)

- 石綿含有建築用仕上塗材等の除去
 - 除去対象範囲 ○図示
 - 着工前の試験施工 ○行う ・行わない
 - 除去工法

- 除去した石綿含有建築用仕上塗材等の飛散防止
 - ※密閉処理 ※湿潤化 ・セメント固化
 - 除去した石綿含有建築用仕上塗材等の処分
 - 埋立処分 (管理型最終処分場)
 - 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)

<除去工法記載例> ※養生・除去方法、剥離剤使用量等を記載すること
剥離剤併用手工具ケレン工法

- 除去作業に入る前にアスベスト粉じん濃度測定を行い、アスベストが飛散していないことを確認する。
 - 除去範囲毎に外部足場内でプラスチックシート等により区画し、無じん・排気装置を設置し飛散を防止する。
 - 剥離剤はジクロロメタンを使用しないものとする。
 - 剥離剤塗布後、必要時間放置したのち、ケレン棒等にてアスベスト含有建築仕上塗材の除去を行う。
 - 剥離剤使用量 ○○ kg/m²
 - 高圧水洗圧力 ○○ MPa (剥離剤併用高圧水洗工法の場合) 等
- ※当初設計の場合は設計想定仕様数量を、変更設計の場合は試験施工等にて確定した仕様数量を記載する。
なお、剥離剤は外壁仕上げの種類、季節により、その塗布量及び放置時間が変わるので注意すること。
※仮設参考図には、仮設、ステップ図等の図示を行うこと。

6-4 リフラクトリーセラミックファイバーの処理

- 除去処理対象物
 - 除去対象範囲 ○図示
 - 除去方法 ○図示
 - 処分
 - 埋立処分 (安定型最終処分場)

7章 特殊な建設副産物の処理

7-1 施工調査 <7.1.3>

分析調査を行う特殊な建設副産物の種類	採取する部位・箇所数	備考
・	部位 ○図示 箇所数: 箇所	

7-2 回収及び処分 <7.3.1>

回収及び処分を行う特殊な建設副産物の種類	備考
・フロコン	
・建設用断熱材フロコン	
・ハロン	
・イオン化式感知器	
・六ふっ化硫黄 (SF ₆) ガス	
・P F O S (フッ素樹脂 (フッ素-1-1,2,2,2))	
・特定化学物質 ()	
・その他の特殊な建設副産物 ()	

回収又は処分

- ・機械設備図による

8章 周辺建築物等調査

8-1 周辺建築物等調査

調査は一般的事項調査、事前調査及び事後調査に区分して行うものとする。
調査

(一般的事項調査)

- 事前調査の実施に当たっては、調査区域内に存する建物等につき、建物の所有者ごとに次の各号の調査を行うものとする。
 - 建物の敷地ごとに建物等 (主たる工作物) の敷地内位置関係
 - 建物ごとに実測による間取り平面及び立面
 - 建物等の所在及び地番並びに所有者の氏名及び住所
 現地調査において所有者の氏名及び住所が確認できないときは、必要に応じて登記簿謄本等の閲覧等の方法により調査を行う。
- その他調査書の作成に必要な事項

(事前調査)

- 受注者は、一般的事項調査が完了したときは、当該建物等の既存の損傷箇所の調査を行うものとし、当該調査は、原則として、次の部位別に行うものとする。
 - 基礎
 - 軸部
 - 開口部
 - 床
 - 天井
 - 内壁
 - 外壁
 - 屋根
 - 水回り
 - 外構
- 建物の全体又は一部に傾斜又は沈下が発生しているときは、次の調査を行うものとする。
 - 傾斜又は沈下の状況を把握するため、原則として、当該建物の四方向を水準測量又は傾斜計等で計測する。この場合において、事後調査の基準点とするため、沈下等のおそれのない堅固な物件を定めて併せて計測を行う
 - コンクリート布基礎に亀裂が生じているときは、建物の外周について、発生箇所及び状況 (最大幅、長さ) を計測する。
 - 基礎のモルタル塗り部分に剥離又は浮き上がりが生じているときは、発生箇所及び状況 (大きさ) を計測する。
 - 計測の単位は、幅についてはミリメートル、長さについてはセンチメートルとする。
- 軸部 (柱及び敷居) に傾斜が発生しているときは、次の調査を行うものとする。
 - 原則として、当該建物の工事箇所に最も接近する壁面の両端の柱及び建物中央部の柱を全体で3箇所程度計測する。
 - 柱の傾斜の計測位置は、直交する二方向の床 (敷居) から1メートルの高さの点とする。
 - 敷居の傾斜の計測位置は、柱から1メートル離れた点とする。
 - 計測の単位はミリメートルとする。
- 開口部 (建具等) に建付不良が発生しているときは、次の調査を行うものとする。
 - 原則として、当該建物で建付不良となっている数量調査を行った後、主たる居室のうちから一室につき1箇所程度とし、全体で6箇所程度を計測する。
 - 測定箇所は、柱又は窓枠と建具との隙間との最大値の点とする。
 - 建具の開閉が滑らかに行えないもの、又は開閉不能及び施錠不良が生じているものは、その程度と数量を調査する。
 - 計測の単位はミリメートルとする。
- 床に傾斜等が発生しているときは、次の調査を行うものとする。
 - えん甲板張り等の居室 (敷居の居室を除く。) について、気泡水準器で直交する二方向の傾斜を計測する。
 - 床仕上げ材に亀裂及び縁切れ又は剥離、破損が生じているときは、それらの箇所及び状況 (最大幅、長さ又は大きさ) を計測する。
 - 束又は大引、根太等床材に蟻みが生じているときは、その程度を調査する。
 - 計測の単位は、幅についてはミリメートル、長さ及び大きさについてはセンチメートルとする。
- 天井に亀裂、縁切れ、雨漏等のシミが発生しているときの調査は、内壁の調査に準じて行うものとする。
- 内壁にちり切れ (柱及び内法材と壁との分離) が発生しているときは、次の調査を行うものとする。
 - 居室ごとに発生箇所数の調査を行った後、主たる居室のうちから一室につき1箇所、全体で6箇所程度計測する。
 - 計測の単位は、幅についてはミリメートルとする。
- 内壁に亀裂が発生しているときは、次の調査を行うものとする。
 - 原則として、すべて亀裂の計測をする。
 - 計測の単位は、幅についてはミリメートル、長さについてはセンチメートルとする。
 - 亀裂が一壁面に多数発生している場合にはその状態をスケッチするとともに、壁面に雨漏等のシミが生じているときは、その形状、大きさの調査をする。
- 外壁に亀裂が発生しているときは、次の調査を行うものとする。
 - 四方向の立面に生じている亀裂等の数量、形状等をスケッチするとともに、一方向の最大の亀裂から2箇所程度を計測する。
 - 計測の単位は、幅についてはミリメートルとし、長さについてはセンチメートルとする。
- 屋根 (庇、雨樋を含む。) に亀裂又は損傷などが発生しているときは、当該建物の屋根伏図を作成し、次の調査を行うものとする。
 - 仕上げ材ごとに、その損傷の程度を計測する。
 - 計測の単位は、原則として、センチメートルとする。ただし、亀裂の幅についてはミリメートルとする。
- 水廻り (浴槽、台所、洗面所等) に亀裂、破損、漏水等が発生しているときは、次の調査を行うものとする。
 - 浴槽、台所、洗面所等の床、壁、壁面のタイル張りに亀裂、剥離、目地切れ等が生じているときは、すべての損傷を第8項に準じて行う。
 - 給水、排水などの配管に蟻み、漏水等が生じているときは、その状況を調査する。
- 外構 (テラス、コンクリート叩、ペランダ、犬走り、池、浄化槽、門柱、塙、擁壁等の屋外工作物) に損傷が発生しているときは、前11項に準じて、その状況等の調査を行うものとする。この場合において、必要に応じ、当該工作物の平面図、立面図等を作成し、損傷箇所、状況等を記載する。

(写真撮影)

- 事前調査に掲げる建物等の各部位の調査に当たっては、計測箇所を次の により写真撮影を行うものとする。この場合において、写真撮影が困難な箇所又はスケッチによることが適当と認められる箇所については、スケッチによることができればものとする。
 - 撮影対象箇所を指示棒等により指示し、次の事項を明示した黒板等と同時に撮影する。
 - 調査番号、建物番号及び建物所有者の氏名
 - 損傷名及び損傷の程度 (計測)
 - 撮影年月日、撮影番号及び撮影対象箇所

(事後調査)

- 受注者は、事前調査を行った建物等について、損傷箇所等の変化及び工事によって新たに発生した損傷の状況及び程度の調査を行うものとする。
- 事前調査の調査対象外であって、事後調査の対象となったものについては、一般的事項調査を行ったうえで損傷箇所の調査を行うものとする。

調査書の作成

受注者は、次の各号の事前調査書及び図面の作成を行うものとする。

(事前調査書及び図面)

- 調査区域位置図
- 調査区域平面図
- 建物等調査一覧表
- 建物等調査書 (平面図・立面図等)
- 損傷調査書
- 写真集

(事前調査書及び図面の作成)

- 調査区域位置図は、工事の工区単位ごとに作成するものとし、調査区域と工事箇所を併せて表示する。この場合の縮尺は、5,000分の1又は10,000分の1程度とする。
- 調査区域平面図は、調査区域内の建物の配置を示す平面図で工事の工区単位又は調査単位ごとに次により作成する。
 - 建物平面図は、縮尺100分の1で作成し、写真撮影を行った位置を表示すると号を記載し、建物の構造別に色分けし、建物の外枠 (外壁) を着色する。この場合の構造別色分けは、木造を赤色、非木造を緑色とする。
 - 縮尺は、500分の1又は1,000分の1程度とする。
- 建物等調査一覧表は、工事の工区単位又は調査単位ごとに調査を実施した建物等について調査番号、建物番号 (同一所有者が2棟以上の建物等を所有している場合) の順に建物等の所在及び地番、所有者並びに建物等の概要等必要な事項を記入する。
- 建物等調査図 (平面図・立面図等) は、一般的事項調査及び事前調査の結果を基に建物等ごとに次により作成するものとする。
 - 調査を実施した建物については、建物等調査一覧表で付した調査番号及び建物番号に建物延べ面積、各階別面積及びこれらの計算式を記入する。
 - 建物立面図は、縮尺100分の1により、原則として、四面 (東西南北) 作成し、外壁の亀裂等の損傷位置を記入する。
 - その他調査図 (基礎伏図、屋根伏図及び展開図) は、発生している損傷を表示する必要がある場合に作成し、縮尺は100分の1又は10分の1程度とする。この場合において写真撮影が困難であり、又は詳細 (スケッチ) 図を作成することが適当
 - 工作物の調査図は、損傷の状況及び程度により建物に準じて作成する。
- 損傷調査書は一般的事項調査及び事前調査の結果に基づき、建物ごとに建物等の所有者名、建物の概要、名称 (室名)、損傷の状況を記載して作成し、損傷の状況については、事前調査欄に損傷名 (亀裂、沈下、傾斜等) 及び程度 (幅、長さ及び箇所数) を記載する。
- 写真は、撮影したものをカラーコピーでし、撮影箇所及び状況の記載を行ったうえでファイルする。

(事後調査書等の作成)

- 受注者は、事前調査書及び図面に基に建物等の概要、損傷箇所の変化及び工事によって新たに発生した損傷について、事前調査に準じて調査書及び図面の作成を行うものとする。

建物等調査一覧表					
番号	建物用途 (共同住宅戸数)	規模・構造	延べ床面積	調査範囲	備考
1				・外部・内部・外構	
2				・外部・内部・外構	
3				・外部・内部・外構	
4				・外部・内部・外構	

※共同住宅の内部調査については、各戸調査を行う
※「外部」の調査は、足場等を設置せず、地上からの目視により行う

一級建築士事務所 東京都登録第4539号

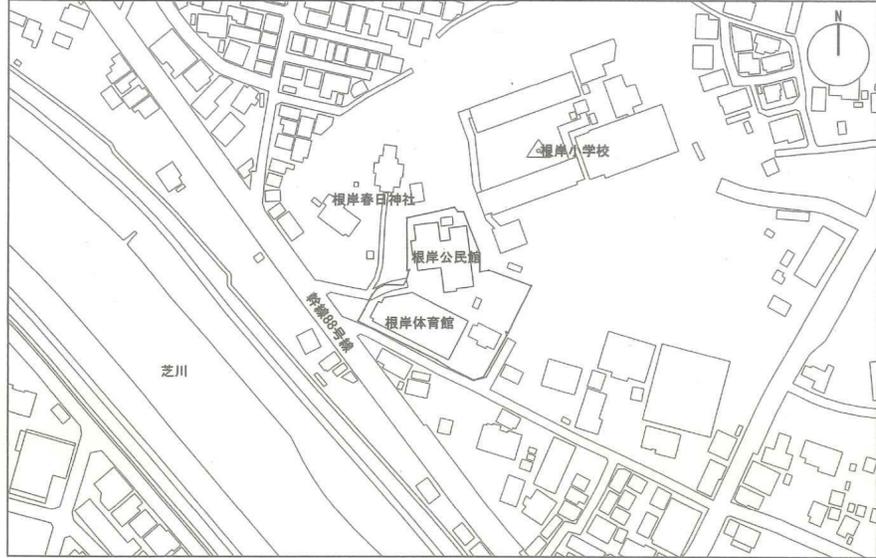
株式会社 楠山設計
東京都千代田区神田小川町3-20

意匠設計	一級建築士登録第 301497 号 高橋敬	DATE 2025.01.30				枚 裁 印
構造設計	一級建築士登録第 271669 号 構造設計一級建築士登録第 6676 号 飯屋 園 耕 一					



TITLE		SCALE	
根岸公民館・根岸体育館解体工事		A1:- A3:-	
SUBTITLE		DRAWN NO.	
解体工事特記仕様書(2)			
APPROVE BY	CHECKED BY	DRAWN BY	
設計図			共通 - 002

■ 案内図 : S=1/1500 (A1)



■ 解体工事概要

計画名称： 根岸公民館・根岸体育館解体工事
 工事場所： 埼玉県川口市大字安行領根岸字谷下128、129、130-1、130-3、130-4、134-2並びに1、126、127番地の一部
 敷地面積： 2,806.40㎡
 備考： 根岸春日神社との隣地境界線付近の工事内容については事前に春日神社と協議すること

■ 解体建物リスト

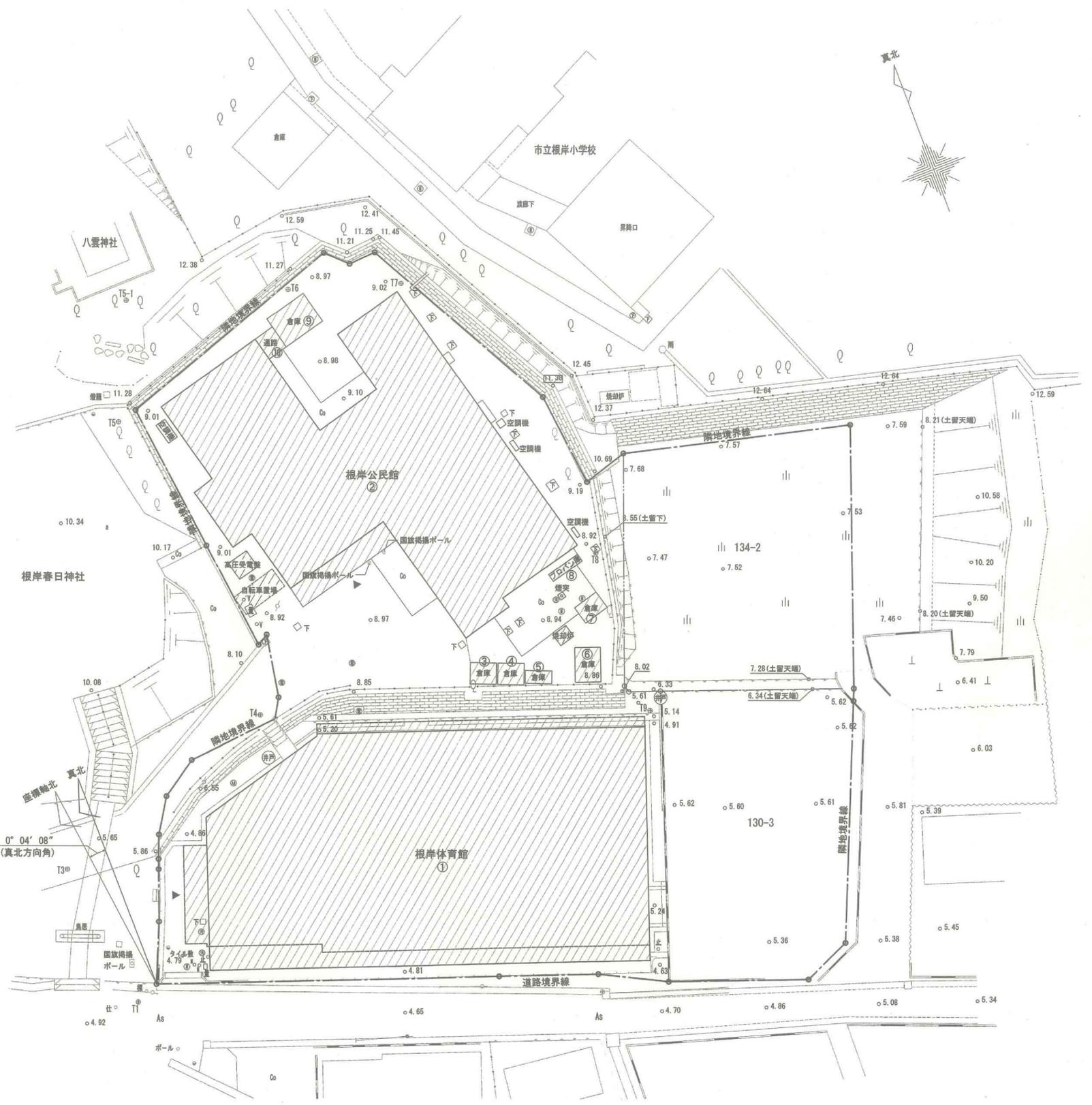
No.	建物名称	構造・規模	延床面積	備考
①	根岸体育館	鉄骨造/2階建て	786.06㎡	昭和60年竣工
②	根岸公民館	木造一部鉄骨造/平屋建て	474.70㎡	昭和43年竣工
③	倉庫			
④	倉庫			
⑤	倉庫			
⑥	倉庫			
⑦	倉庫			
⑧	プロパン庫			
⑨	倉庫			
⑩	通路			

■ 凡例

	建物出入口		細流
	解体建物(基礎共)		耕地界
	敷地境界線		水田
	高さ測量測点(標高)		畑
	基準点		独立樹
	BM.水準点		園庭
	境界石		針葉樹林
	既存擁壁		広葉樹林
	垣久塀		その他の樹木畑
	木・トナリ塀		荒地
	垣 塀		湿地
	生垣		斜地
	防護柵		崩土
	石積		基地
	コンクリート壁		資材置場
	各マンホール		芝地
	各種柱		
	各種標識		
	電力柱		
	電話柱		
	街灯		
	側溝・暗渠		

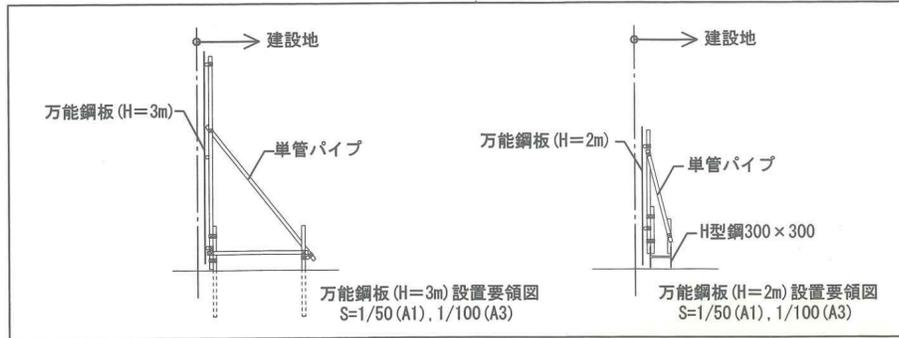


10851
H=4.822
(標高基準)



現況配置図 S=1/200 (A1)

(仮囲種類)

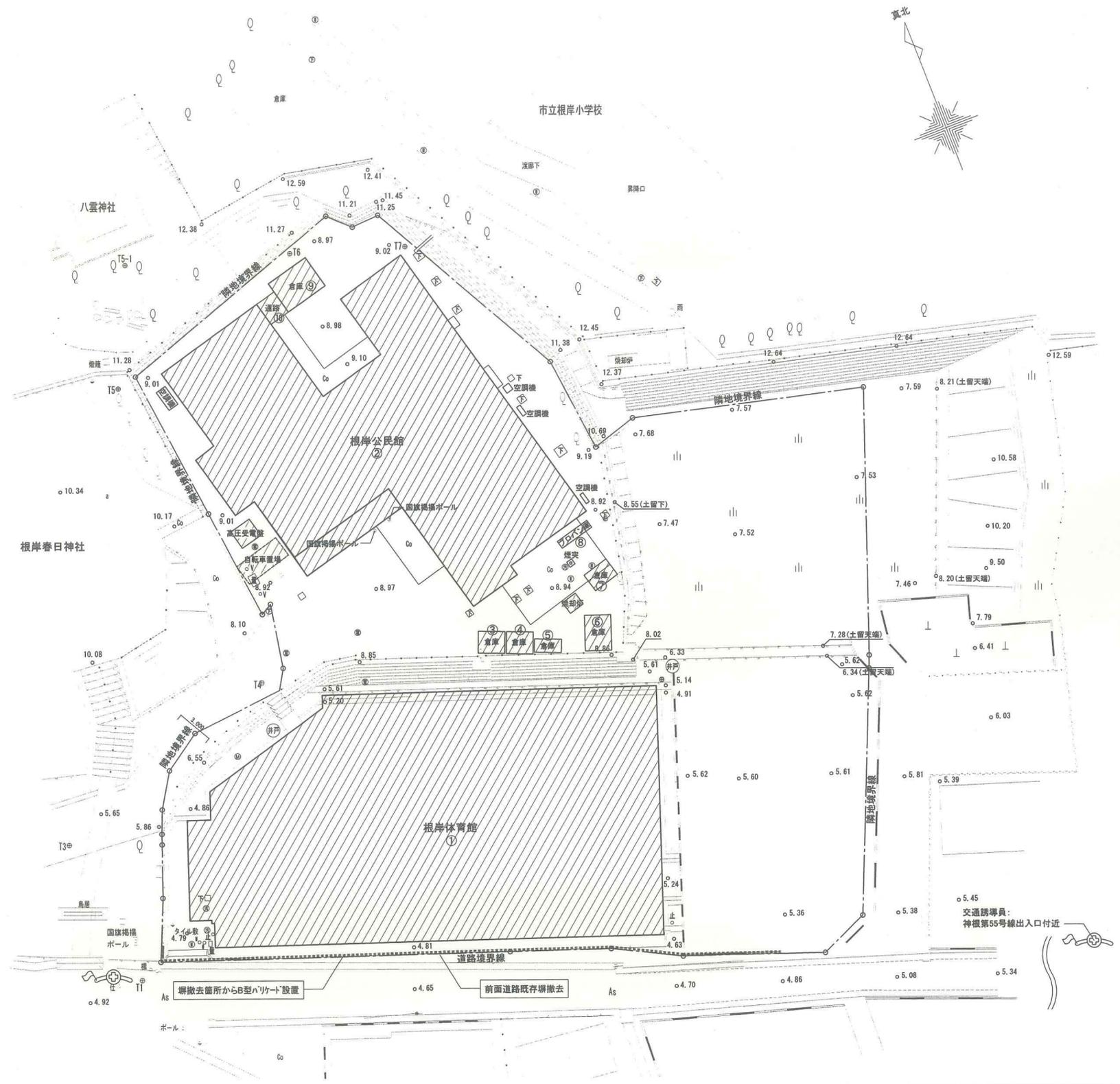


<凡例>

表示	名称	参考数量
	仮囲い: H=3.0m 万能鋼板 単管パイプ・クランプ式	-
	仮囲い: H=2.0m 万能鋼板 H形鋼据置式	-
	仮囲い: ガードフェンス (B型バリケード)	55.0m
	搬入ゲート W6,300 x H2,000 ...搬入ゲートA	-
	交通誘導員	図示による
	外部枠組み足場	-
	敷鉄板 t22 (1500×6000)	-
	山留シートパイル (SP-3)	-
	整地レベル	-

■ 凡例 (測量図)

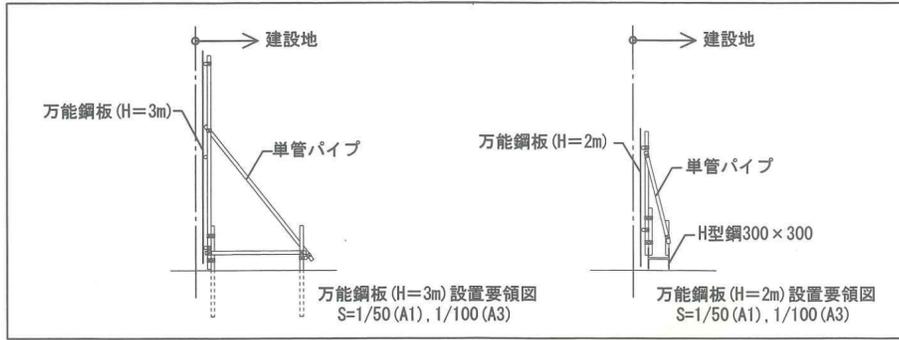
	建物出入口		細流
	解体建物 (基礎共)		耕地界
	敷地境界線		水田
	高さ測量測点 (標高)		畑
	基準点		独立樹
	BM. 水準点		園庭
	境界石		針葉樹林
	既存擁壁		広葉樹林
	垣久塀		その他の樹木畑
	木・トシ塀		荒地
	垣塀		湿地
	生垣		斜地
	防護柵		崩土
	石積		墓地
	コンクリート壁		資材置場
	各マンホール		芝地
	各種柱		
	各種標識		
	電力柱		
	電話柱		
	街灯		
	側溝、暗渠		



■ STEP0 (仮設置前)

- ・南側前面道路既存塀撤去
- ※塀撤去時、周辺への飛散防止処置
- ※撤去箇所から敷地内侵入防止用のB型ハリケード設置

(仮囲種類)

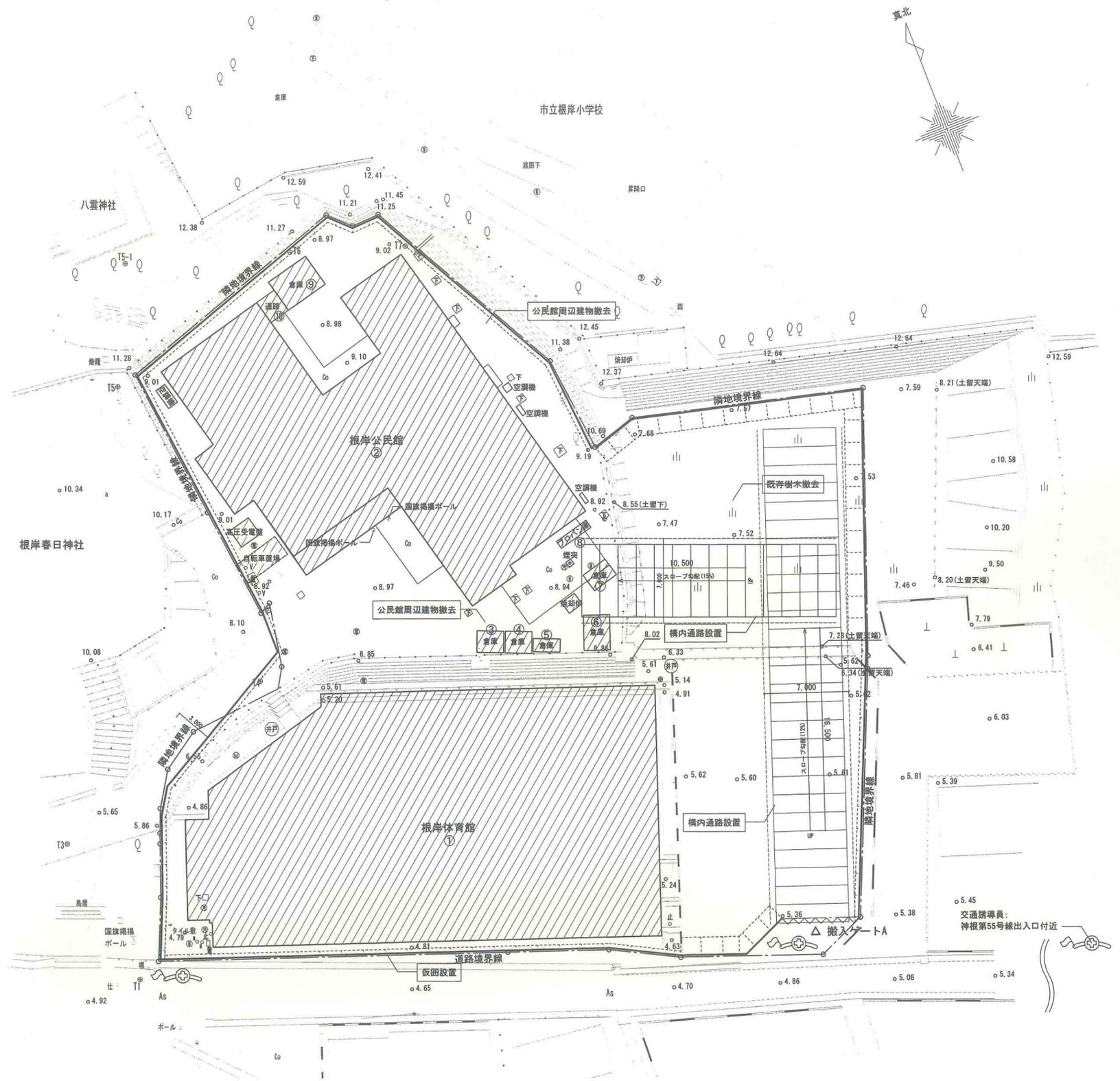


<凡例>

表示	名称	参考数量
	仮囲い: H=3.0m 万能鋼板 単管パイプ・クランプ式	55m
	仮囲い: H=2.0m 万能鋼板 H形鋼据置式	171m
	仮囲い: ガードフェンス (B型バリケード)	-
	搬入ゲート W6,300 x H2,000 ...搬入ゲートA	1カ所
	交通誘導員	図示による
	外部枠組み足場	図示による
	敷鉄板 t22 (1500x6000)	369㎡
	山留シートパイル (SP-3)	-
	整地レベル	-

■ 凡例 (測量図)

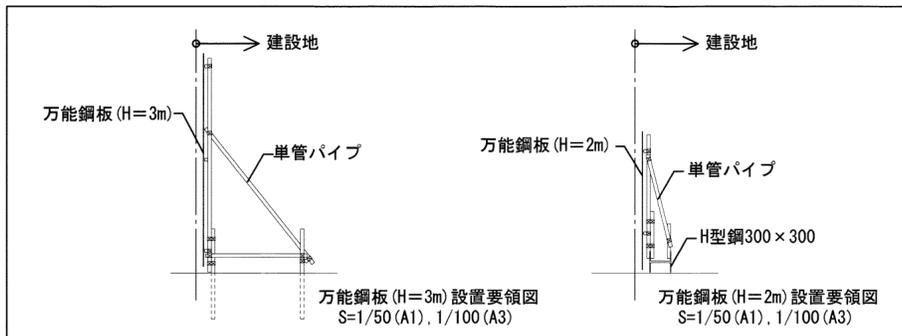
	建物出入口		細流
	解体建物(基礎共)		耕地界
	敷地境界線		水田
	高さ測量測点(標高)		畑
	基準点		独立樹
	BM.水準点		園庭
	境界石		針葉樹林
	既存擁壁		広葉樹林
	垣久堀		その他の樹木畑
	木・トク堀		荒地
	垣堀		湿地
	生垣		斜地
	防護柵		崩土
	石積		墓地
	コンクリート壁		資材置場
	各マンホール		芝地
	各種柱		
	各種標識		
	電力柱		
	電話柱		
	街灯		
	側溝・暗渠		



配置図 S=1/200 (A1)

■ STEP1 (仮設工事~公民館周辺建物撤去)
 ・敷地周囲仮囲設置
 ・既存樹木撤去
 ・構内通路設置
 ・公民館周辺建物撤去

(仮囲種類)

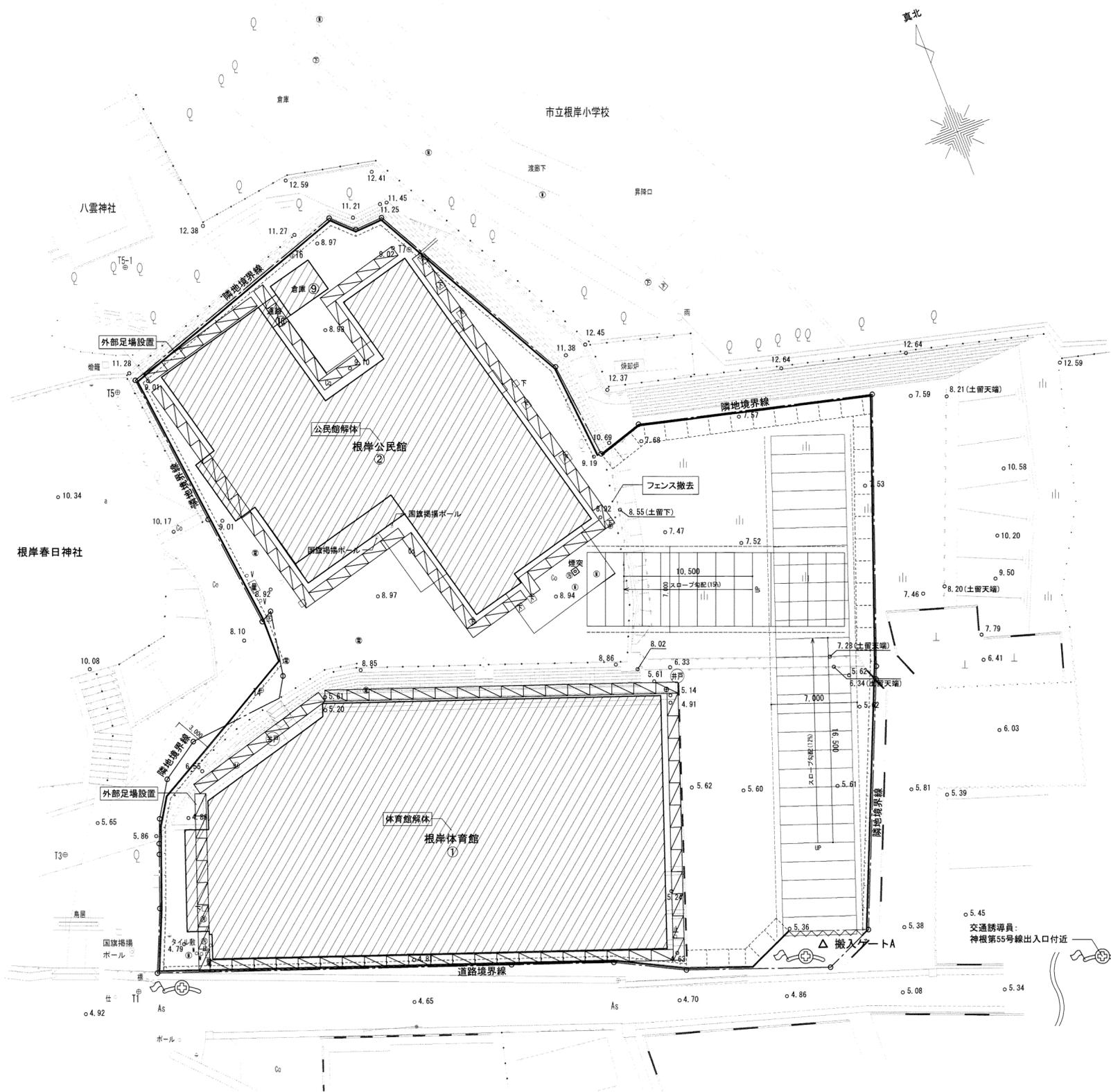


<凡例>

表示	名称	参考数量
	仮囲い: H=3.0m 万能鋼板 単管パイプ・クランプ式	55m
	仮囲い: H=2.0m 万能鋼板 H形鋼据置き	171m
	仮囲い: ガードフェンス (B型バリケード)	-
	搬入ゲート W6,300 x H2,000 ...搬入ゲートA	1カ所
	交通誘導員	図示による
	外部枠組み足場	図示による
	敷鉄板 t22 (1500x6000)	369㎡
	山留シートパイル (SP-3)	-
	整地レベル	-

■ 凡例(測量図)

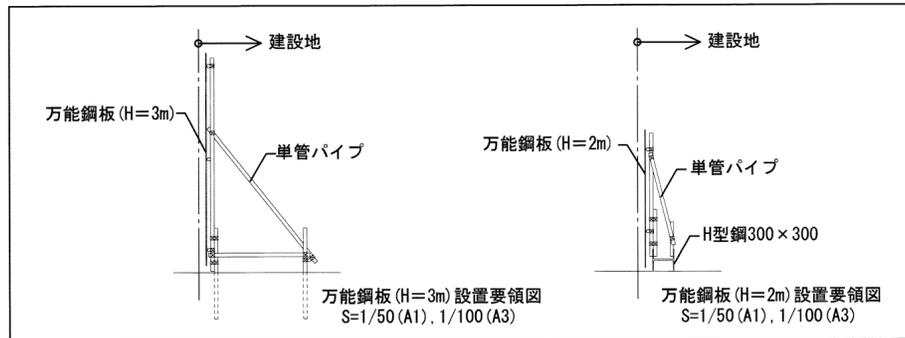
	建物出入口		細流
	解体建物(基礎共)		耕地界
	敷地境界線		水田
	高さ測量測点(標高)		畑
	基準点		独立樹
	BM.水準点		園庭
	境界石		針葉樹林
	既存擁壁		広葉樹林
	垣久塀		その他の樹木畑
	木・トシ塀		荒地
	垣 塀		湿地
	生垣		斜地
	防護柵		崩土
	石積		墓地
	コンクリート壁		資材置場
	各マンホール		芝地
	各種柱		
	各種標識		
	電力柱		
	電話柱		
	街灯		
	側溝・暗渠		



配置図 S=1/200 (A1)

■ STEP2 (構内通路設置～公民館解体工事)
 ・体育館、公民館外部足場設置
 ・公民館解体工事
 ・体育館解体工事

(仮囲種類)

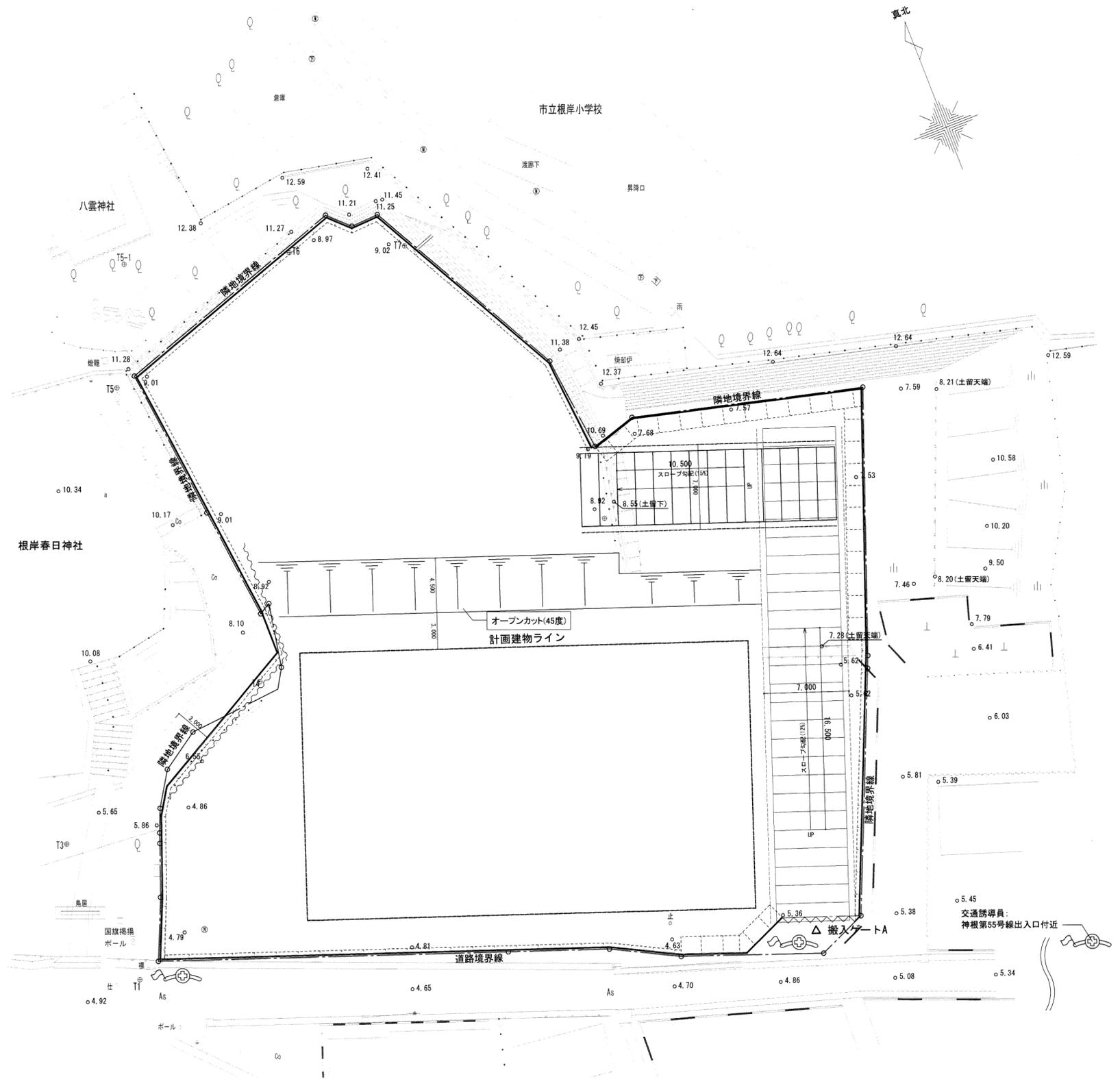


<凡例>

表示	名称	参考数量
	仮囲い: H=3.0m 万能鋼板 単管パイプ・クランプ式	55m
	仮囲い: H=2.0m 万能鋼板 H形鋼据置式	171m
	仮囲い: ガードフェンス (B型バリケード)	-
	搬入ゲート W6.300 x H2.000 ...搬入ゲートA	1カ所
	交通誘導員	図示による
	外部枠組み足場	図示による
	敷鉄板 t22 (1500x6000)	369㎡
	山留シートパイル(SP-3)	45.0m
	整地レベル	-

■ 凡例(測量図)

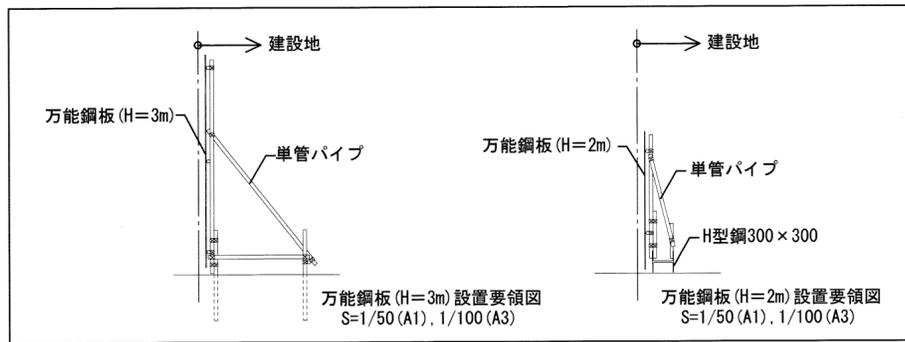
	建物出入口		細流
	解体建物(基礎共)		耕地界
	敷地境界線		水田
	高さ測量測点(標高)		畑
	基準点		独立樹
	BM.水準点		園庭
	境界石		針葉樹林
	既存擁壁		広葉樹林
	垣久堀		その他の樹木畑
	木・トナ堀		荒地
	垣 堀		湿地
	生 垣		斜地
	防護柵		崩土
	石 積		墓地
	コンクリート壁		資材置場
	各マンホール		芝地
	各種標識		
	電力柱		
	電話柱		
	街灯		
	側溝・暗渠		



配置図 S=1/200 (A1)

■ STEP4 (擁壁解体工事完了~敷地整地)
・敷地整地

(仮囲種類)

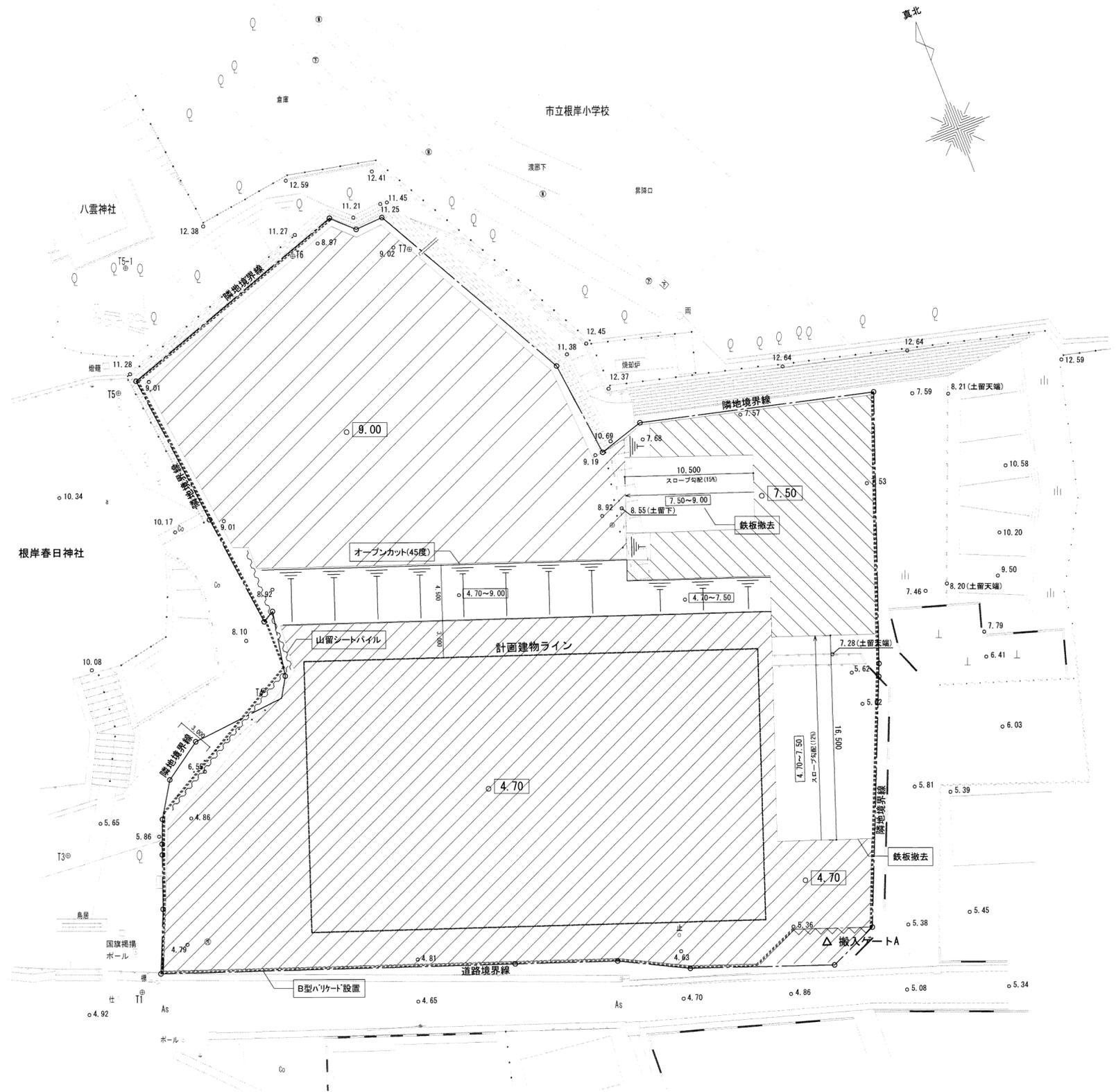


<凡例>

表示	名称	参考数量
	仮囲い: H=3.0m 万能鋼板 単管パイプ・クランプ式	-
	仮囲い: H=2.0m 万能鋼板 H形鋼据置式	-
	仮囲い: ガードフェンス (B型バリケード)	171m
	搬入ゲート W6,300 x H2,000 ...搬入ゲートA	1カ所
	交通誘導員	図示による
	外部枠組み足場	-
	敷鉄板 t22 (1500x6000)	-
	山留シートパイル(SP-3)	45.0m
	○00.00 整地レベル	図示による

■ 凡例(測量図)

	建物出入口		細流
	解体建物(基礎共)		耕地界
	敷地境界線		水田
	高さ測量測点(標高)		畑
	基準点		独立樹
	BM.水準点		園庭
	境界石		針葉樹林
	既存擁壁		広葉樹林
	垣久塀		その他の樹木畑
	木・トナリ塀		荒地
	垣塀		湿地
	生垣		斜地
	防護柵		崩土
	石積		墓地
	コンクリート壁		資材置場
	各マンホール		芝地
	各種柱		
	各種標識		
	電力柱		
	電話柱		
	街灯		
	側溝, 暗渠		



配置図 S=1/200 (A1)

■ STEP5 (解体工事完了時)
 ・構内通路鉄板撤去
 ・仮囲盛替(B型バリケード)